

佐賀市南商工会地域経済動向調査

佐賀市南エリアの景況

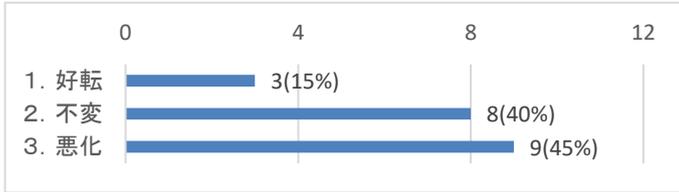
佐賀市南商工会内 20 事業所を対象に景気動向、経営上の課題などを聞き取った。調査は令和 6 年 9 月に実施している。

■佐賀市南エリアの動向(令和 6 年 7 月～9 月期)

◇業況判断

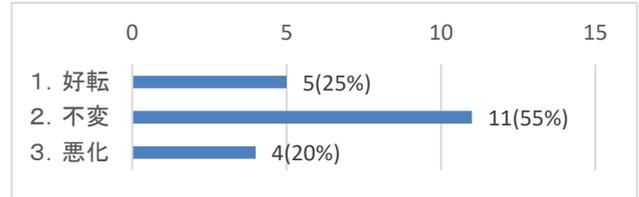
<現在の景況感>

※前期との比較



<3 か月後の見通し>

※今期との比較



<DI 値>

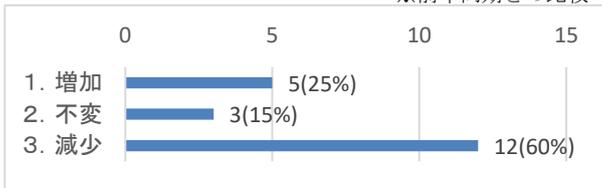
	調査数	現状 (R6. 8)	見通し (R6. 11)
全産業	20	▲30.0	5.0
製造業	5	▲40.0	20.0
建設業	5	▲40.0	▲60.0
小売業	5	▲40.0	60.0
サービス業	5	0.0	0.0

・佐賀市南エリアの景況感は、DI 値は▲30.0 であり、現在の景況感を「悪化」と評する事業所が「好転」を上回っている。今後の見通しでは、DI 値は 5.0(現状と比較して 35.0 ポイント増)であり、景況感は好転していく方向と予測されている。

・母数が少ないため、業種別は参考値としてみてもらいたい。現状で、製造業、建設業、小売業は「悪化」、サービス業は「不変」との景況感となっている。見通しについては、製造業、小売業は、ポイント増加、サービス業は横ばい、建設業はポイント減少となっている。

◇売上(加工)額 (今期 令和 6 年 7 月～9 月)

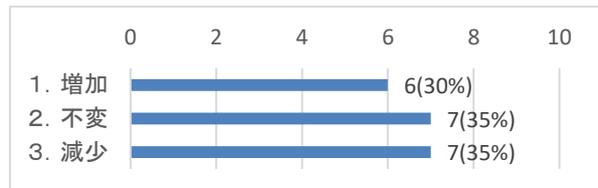
※前年同期との比較



・売上額については、現状では「減少」が 12 社 60%を占め、最も多い。次いで「増加」との回答となっている。

◇売上(加工)額 (来期 令和 6 年 10 月～12 月)

※前年同期との比較

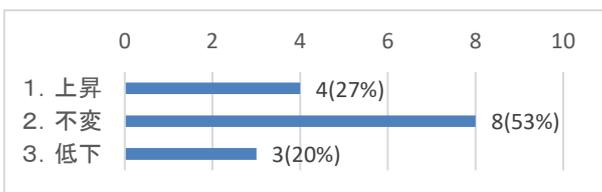


・今後については、「不変」、「減少」が 7 社 35%ずつで最も多くなっている。なお、「増加」も含め、ほぼ同じ程度の割合となっている。

◇客単価・売上(加工)単価 (今期 令和 6 年 7 月～9 月)

※客単価・売上(加工)単価は、建設業は除く

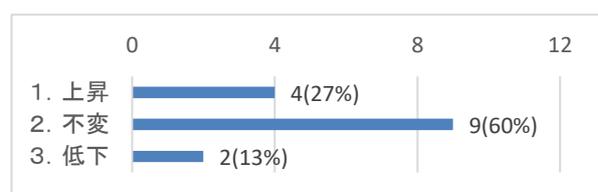
※前年同期との比較



・客単価・売上単価については、現状では「不変」が 8 社 53%を占め、最も多い。

◇客単価・売上(加工)単価 (来期 令和 6 年 10 月～12 月)

※前年同期との比較

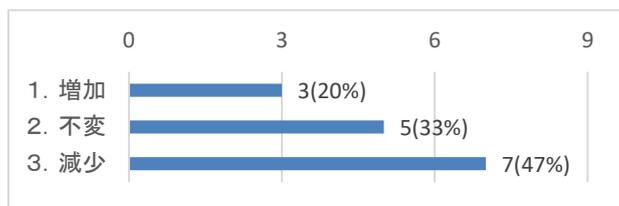


・今後についても、「不変」が 9 社 60%で最も多い。

◇客数・売上(加工)数量 (今期 令和6年7月～9月)

※客数・売上(加工)数量は、建設業、卸売業は除く

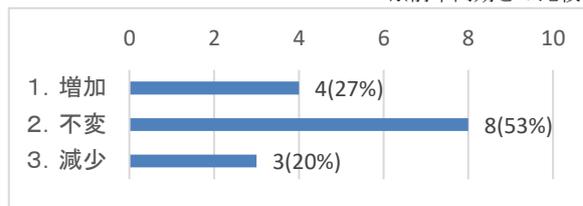
※前年同期との比較



・客数・売上数量については「減少」が7社47%で最も多くなっている。

◇客数・売上(加工)数量 (来期 令和6年10月～12月)

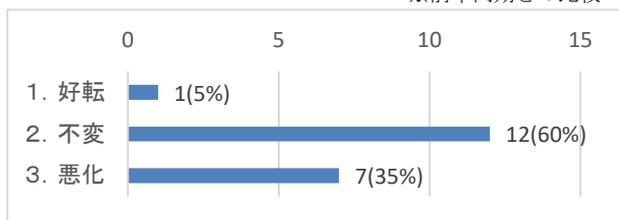
※前年同期との比較



・今後については、「不変」が8社53%で最も多い。

◇資金繰り (今期 令和6年7月～9月)

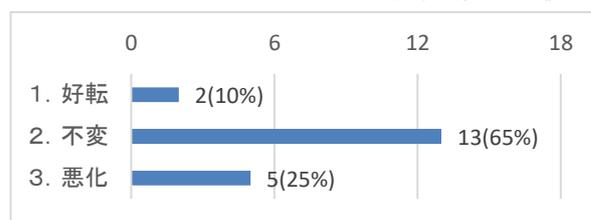
※前年同期との比較



・資金繰りについては「不変」が12社60%で最も多くなっている。

◇資金繰り (来期 令和6年10月～12月)

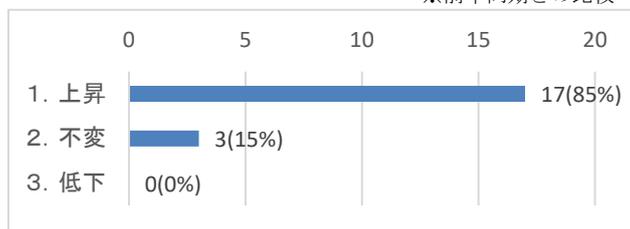
※前年同期との比較



・今後についても、「不変」13社65%で最も多くなっている。

◇原材料仕入れ単価 (今期 令和6年7月～9月)

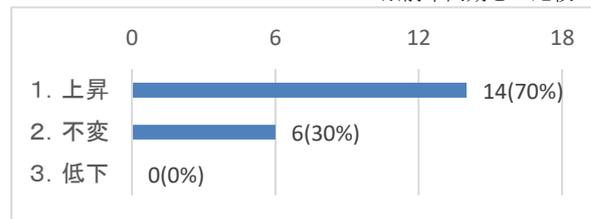
※前年同期との比較



・原材料仕入れ単価については、「上昇」が17件85%で最も多くなっている。

◇原材料仕入れ単価 (来期 令和6年10月～12月)

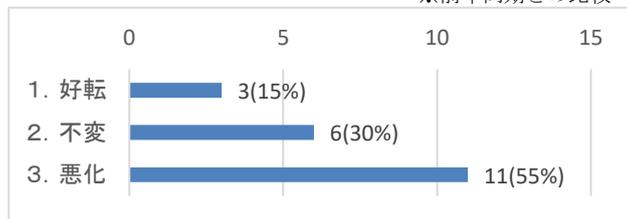
※前年同期との比較



・今後についても、「上昇」が14件70%で最も多くなっている。

◇採算(経常利益) (今期 令和6年7月～9月)

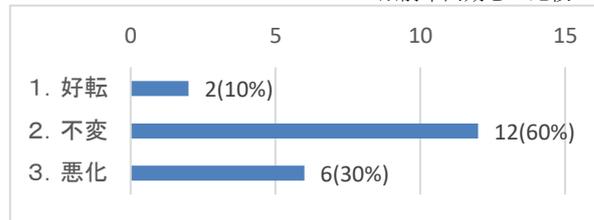
※前年同期との比較



・採算(経常利益)については、「悪化」が11件55%で最も多くなっている。次いで「不変」と続く。

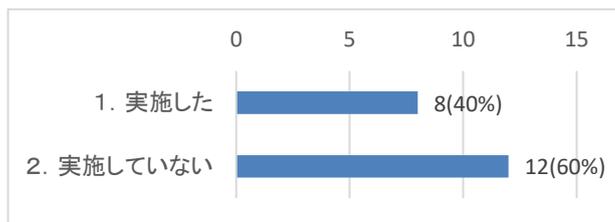
◇採算(経常利益) (来期 令和6年10月～12月)

※前年同期との比較



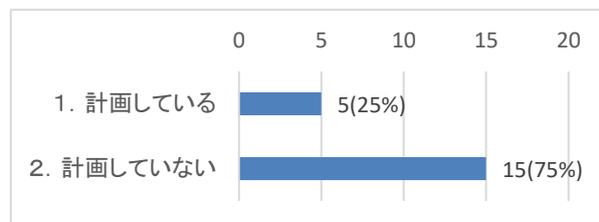
・今後については、「不変」が12社60%で最も多くなっている。

◇設備投資(今期 令和6年7月～9月)



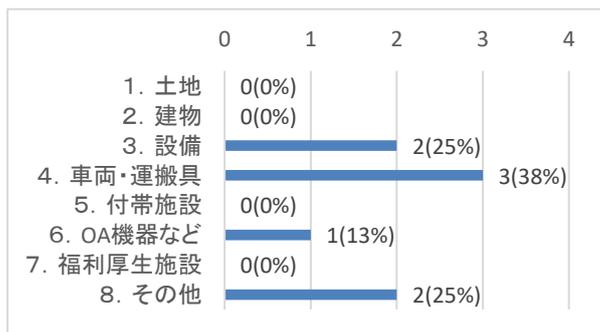
・設備投資は、8社40%が実施されている。

◇設備投資(来期 令和6年10月～12月)



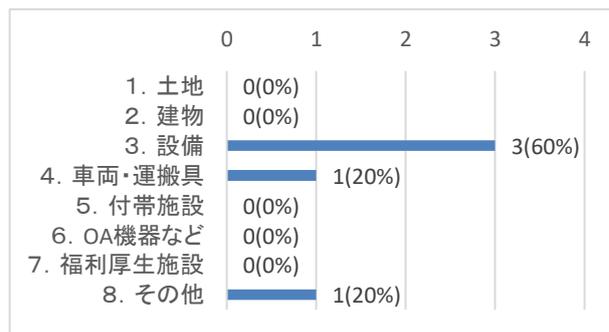
・今後の設備投資は、5社25%が計画されている。

<実施した設備投資の内容>



・設備投資内容は「車両・運搬具」が3社38%で最も多く、次いで「設備」などと続く。

<予定している設備投資の内容>



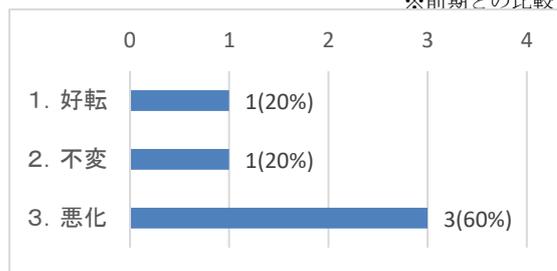
・今後の設備投資は「設備」が3社60%で最も多く、次いで「車両・運搬具」などと続く。

■業種別景況感など

<製造業>

◇自社の現在の景況感 (今期 令和6年7月~9月)

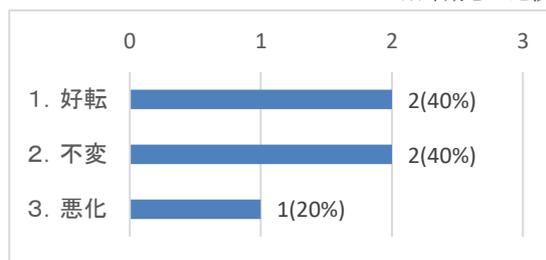
※前期との比較



・「悪化」が3社60%で最も多くなっている。

◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和6年10月~12月)

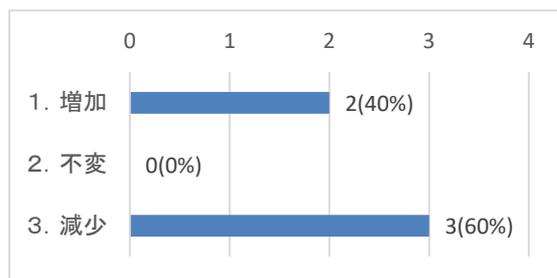
※今期との比較



・「好転」、「不変」が2社40%ずつで最も多くなっている。

◇売上(加工)額 (今期 令和6年7月~9月)

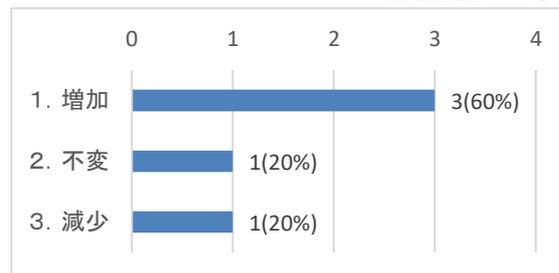
※前年同期との比較



・「減少」が3社60%で最も多くなっている。

◇売上(加工)額 (来期 令和6年10月~12月)

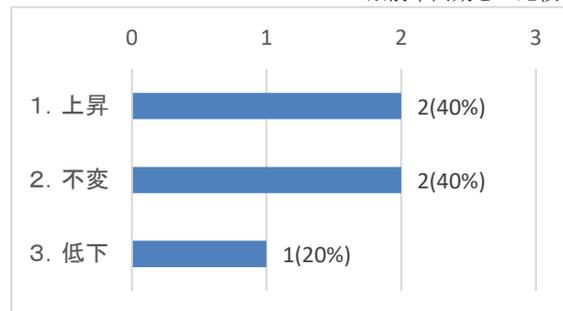
※前年同期との比較



・「増加」が3社60%で最も多くなっている。

◇売上(加工)単価 (今期 令和6年7月~8月)

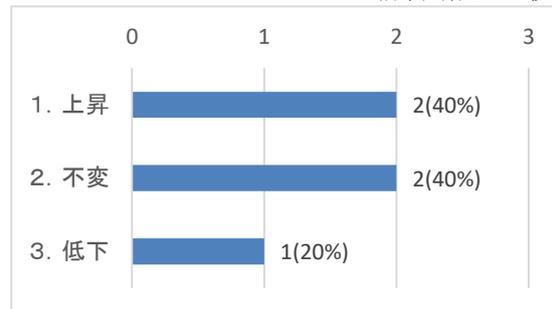
※前年同期との比較



・「上昇」、「不変」が2社40%ずつで最も多くなっている。

◇売上(加工)単価 (来期 令和6年10月~12月)

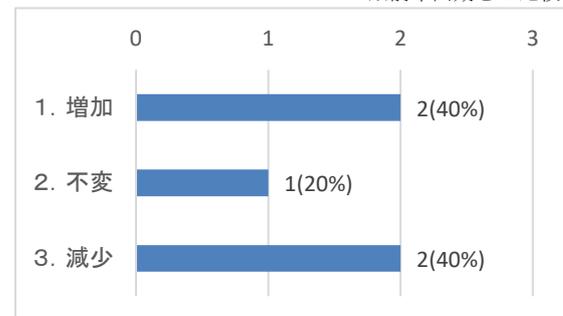
※前年同期との比較



・「上昇」、「不変」が2社40%ずつで最も多くなっている。

◇売上(加工)数量 (今期 令和6年7月~9月)

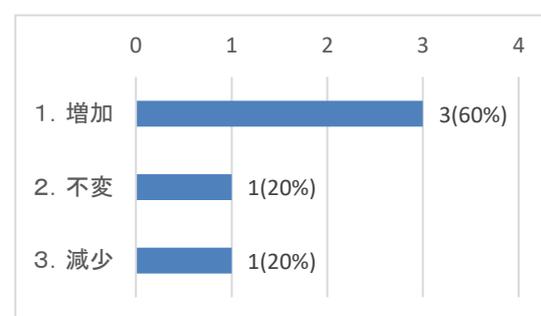
※前年同期との比較



・「増加」、「減少」が2社40%ずつで最も多くなっている。

◇売上(加工)数量 (来期 令和6年10月~12月)

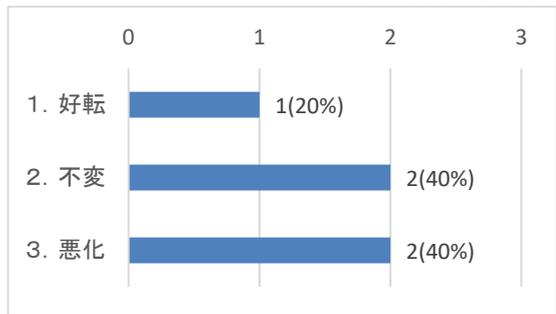
※前年同期との比較



・「増加」が3社60%で最も多くなっている。

◇資金繰り (今期 令和6年7月～9月)

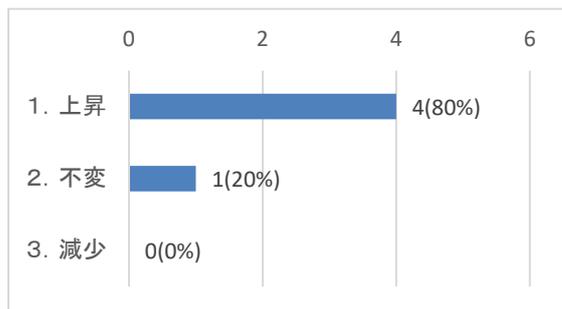
※前年同期との比較



・「不変」、「悪化」が2件40%ずつとなっている。

◇原材料仕入れ単価 (今期 令和6年7月～9月)

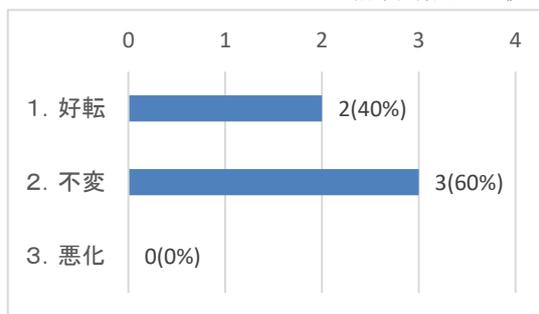
※前年同期との比較



・「上昇」が4件80%で最も多くなっている。

◇資金繰り (来期 令和6年10月～12月)

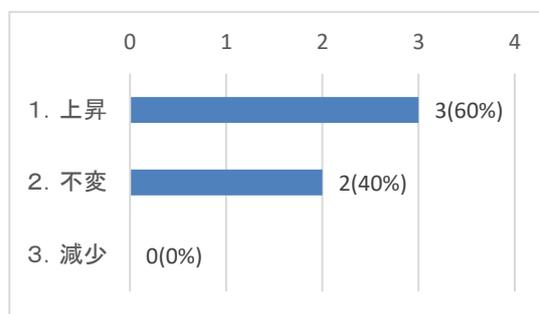
※前年同期との比較



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。

◇原材料仕入れ単価 (来期 令和6年10月～12月)

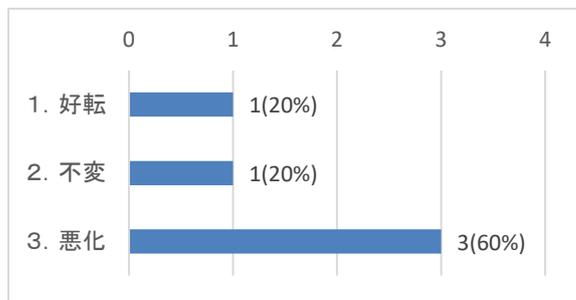
※前年同期との比較



・「上昇」が3件60%で最も多くなっている。

◇採算(経常利益) (今期 令和6年7月～9月)

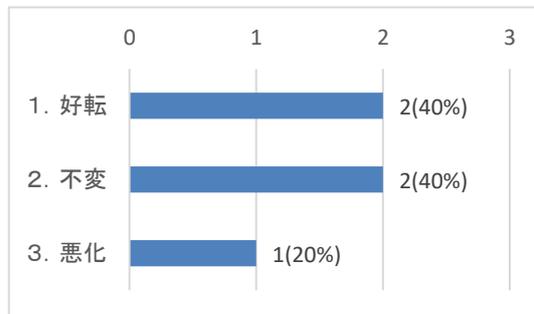
※前年同期との比較



・「悪化」が3件60%で最も多くなっている。

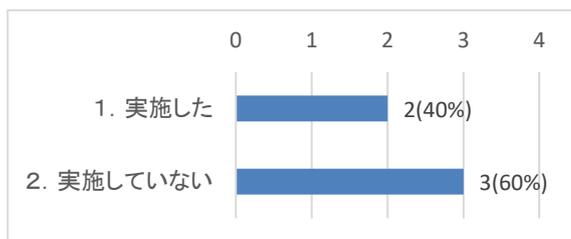
◇採算(経常利益) (来期 令和6年10月～12月)

※前年同期との比較



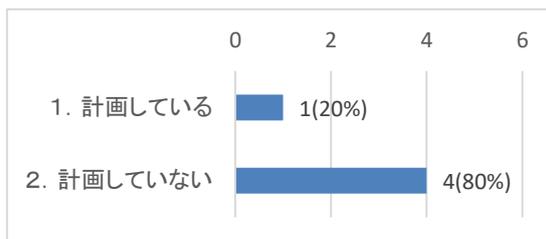
・「好転」、「不変」が2社40%ずつで最も多くなっている。

◇設備投資(今期 令和6年7月～9月)



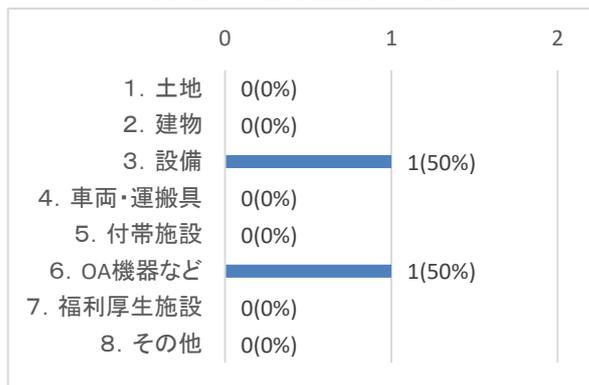
・設備投資は、2社40%が実施されている。

◇設備投資(来期 令和6年10月～12月)



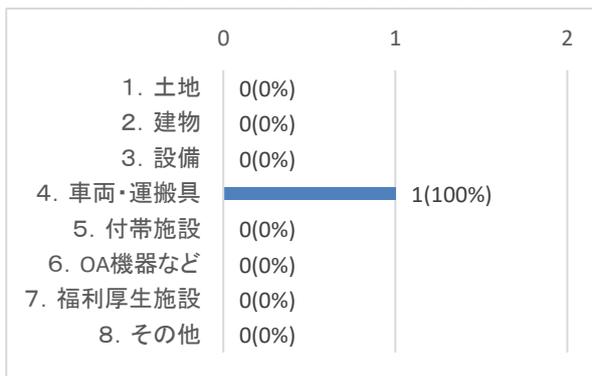
・設備投資は、1社20%が計画している。

<実施した設備投資の内容>



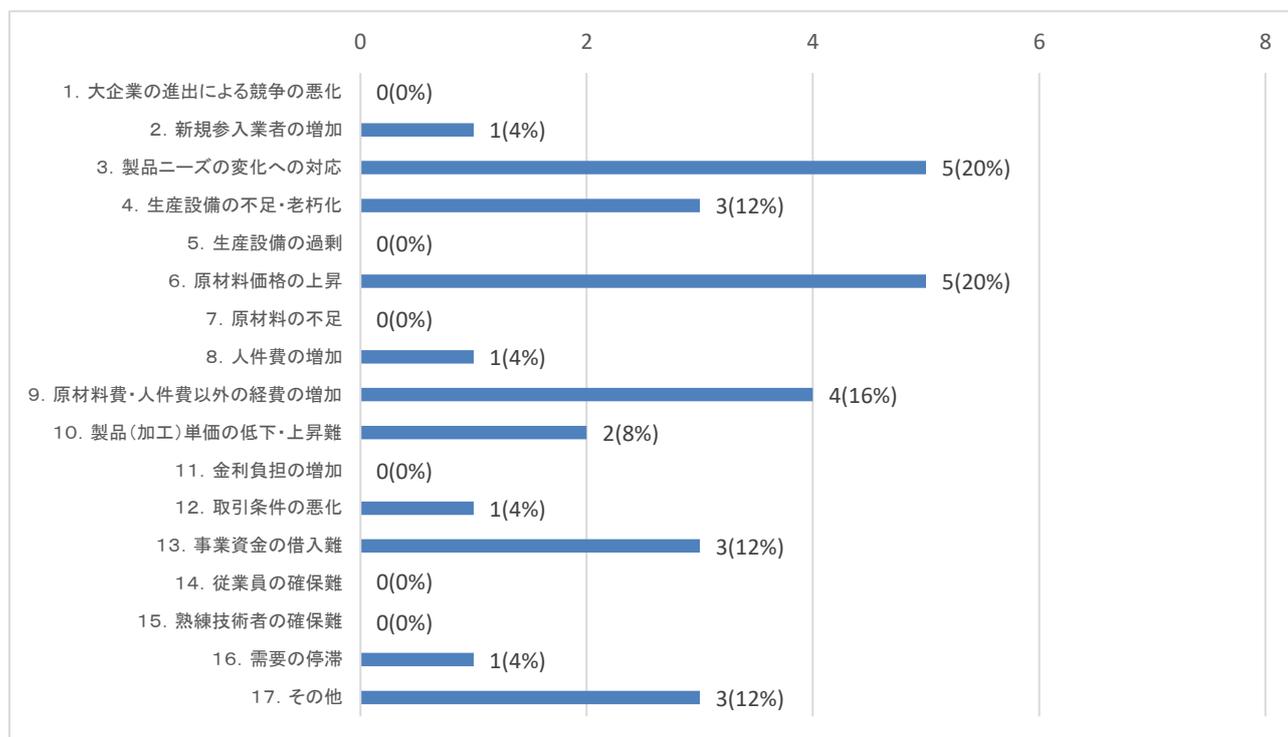
・設備投資内容は「設備」、「OA 機器など」となっている。

<予定している設備投資の内容>



・今後の設備投資は「車両・運搬具」となっている。

◇経営上の課題



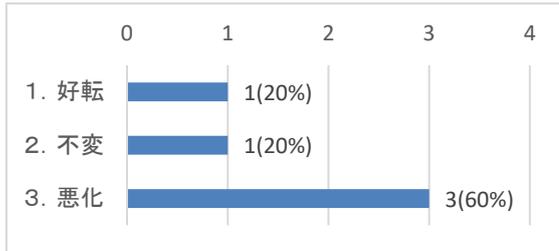
※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「製品ニーズの変化への対応」、「原材料価格の上昇」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「原材料費・人件費以外の経費の増加」、「生産設備の不足・老朽化」などと続く。

<建設業>

◇自社の現在の景況感 (今期 令和6年7月~9月)

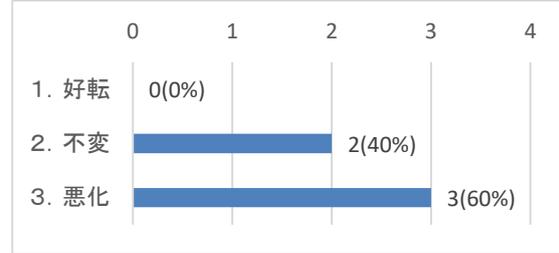
※前期との比較



・「悪化」が3社60%で最も多くなっている。

◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和6年10月~12月)

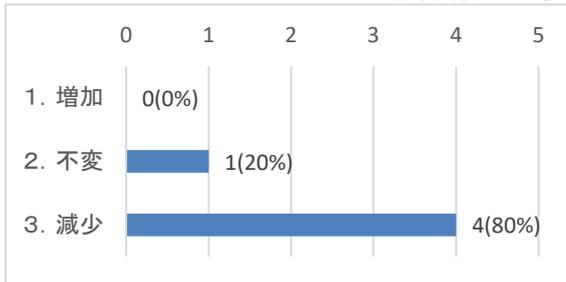
※今期との比較



・「悪化」が3社60%で最も多くなっている。

◇売上(加工)額 (今期 令和6年7月~9月)

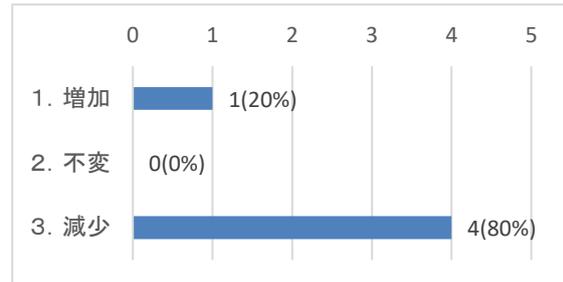
※前年同期との比較



・「減少」が4社80%で最も多くなっている。

◇売上(加工)額 (来期 令和6年10月~12月)

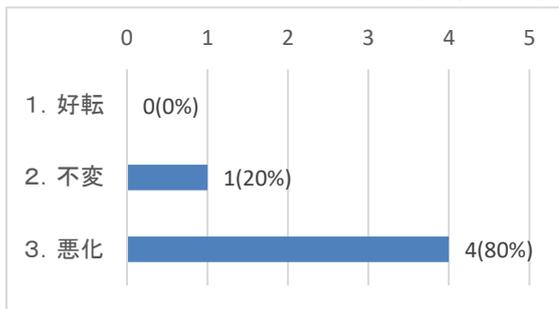
※前年同期との比較



・「減少」が4社80%で最も多くなっている。

◇資金繰り (今期 令和6年7月~9月)

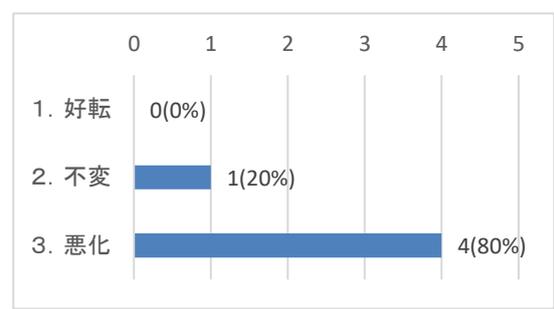
※前年同期との比較



・「悪化」が4社80%で最も多くなっている。

◇資金繰り (来期 令和6年10月~12月)

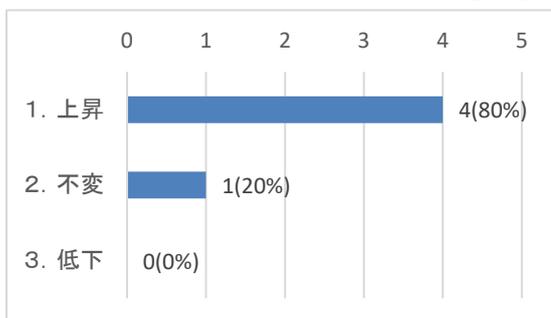
※前年同期との比較



・「悪化」4社80%で最も多くなっている。

◇原材料仕入れ単価 (今期 令和6年7月~9月)

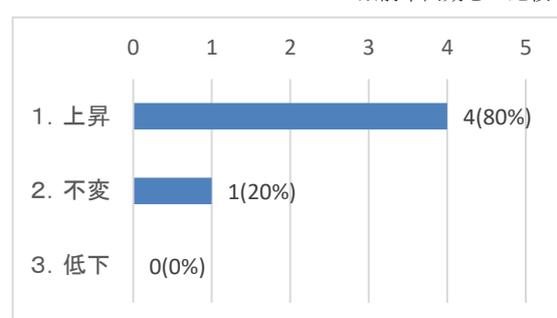
※前年同期との比較



・「上昇」が4件80%で最も多くなっている。

◇原材料仕入れ単価 (来期 令和6年10月~12月)

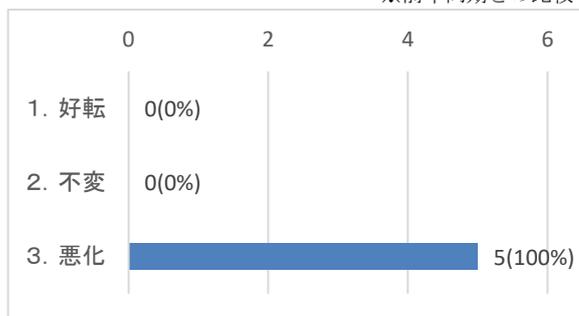
※前年同期との比較



・「上昇」が4件80%で最も多くなっている。

◇採算(経常利益) (今期 令和6年7月~9月)

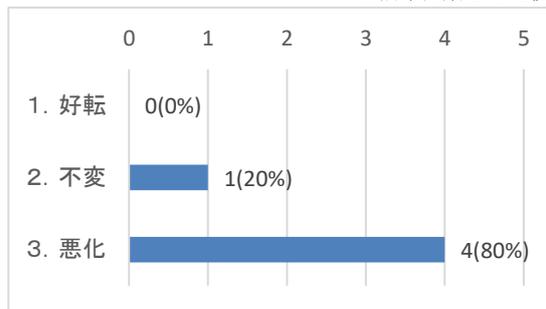
※前年同期との比較



・5件とも「悪化」と回答している。

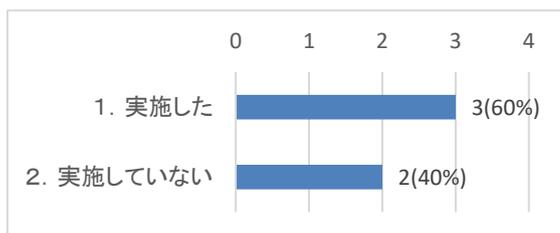
◇採算(経常利益) (来期 令和6年10月~12月)

※前年同期との比較



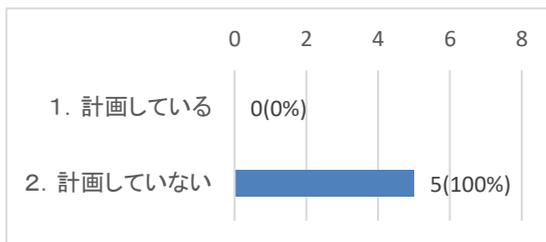
・「悪化」4件80%で最も多くなっている。

◇設備投資(今期 令和6年7月~9月)



・設備投資は、3社60%が実施されている。

◇設備投資(来期 令和6年10月~12月)



・設備投資は、計画されていない。

<実施した設備投資の内容>

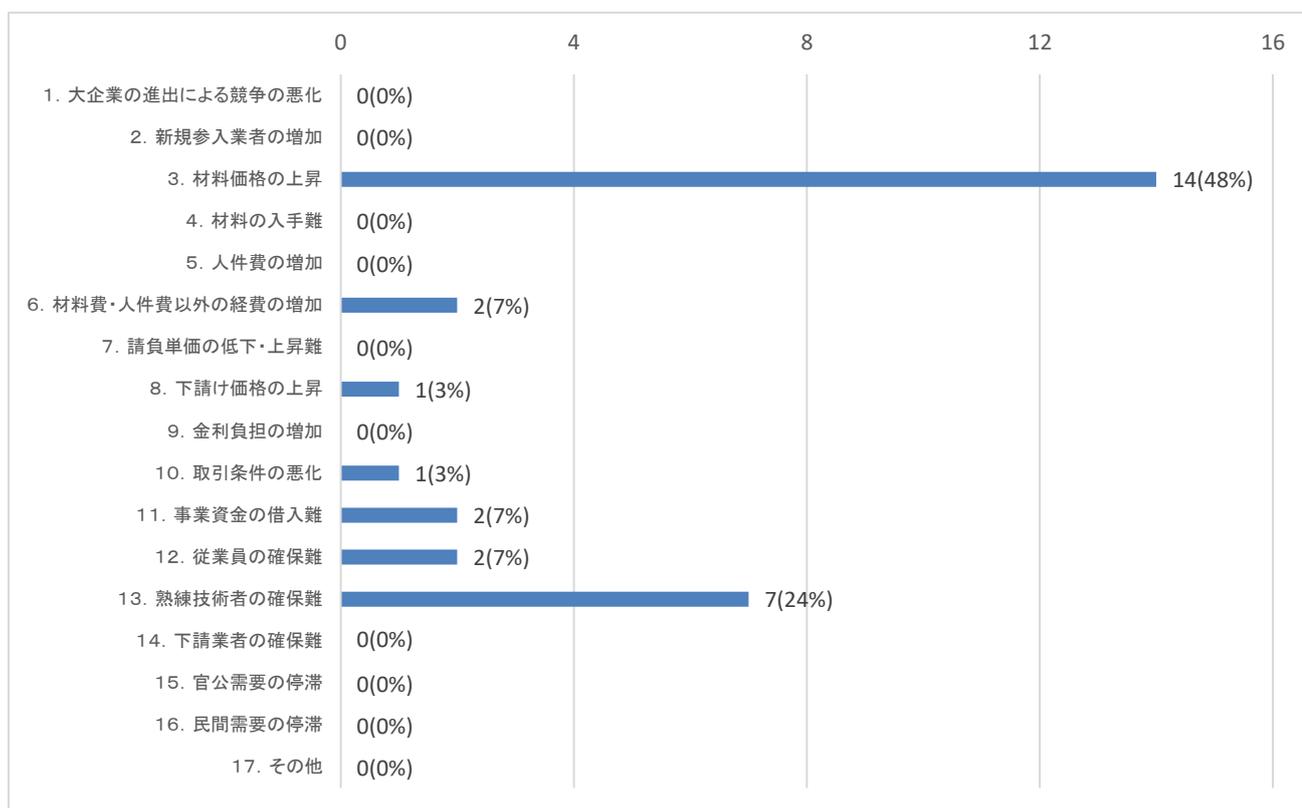


・設備投資内容は、全て「車両・運搬具」となっている。

<予定している設備投資の内容>

・今後の設備投資は計画されていない。

◇経営上の課題



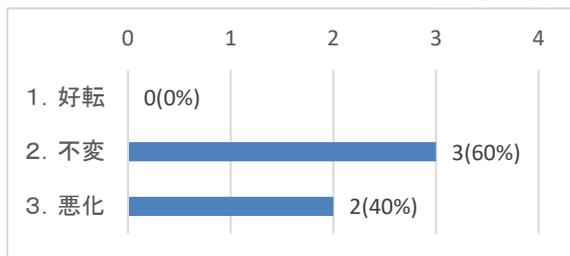
※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「材料価格の上昇」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「熟練技術者の確保難」と続く。

<小売業>

◇自社の現在の景況感 (今期 令和6年7月~9月)

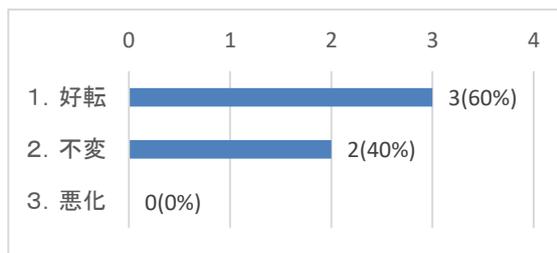
※前期との比較



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。

◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和6年10月~12月)

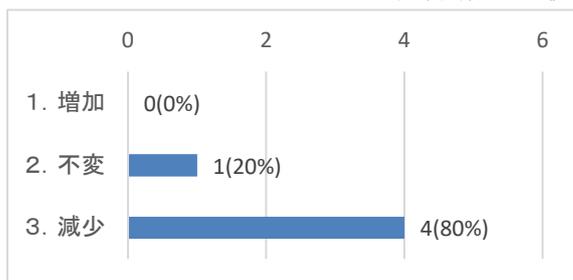
※今期との比較



・「好転」が3社60%で最も多くなっている。

◇売上(加工)額 (今期 令和6年7月~9月)

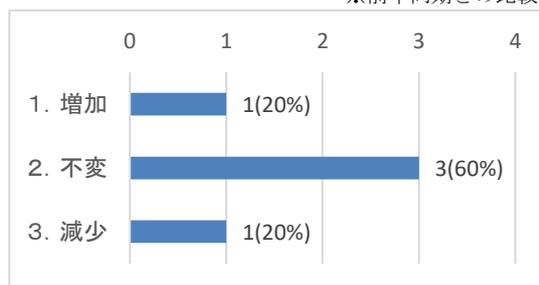
※前年同期との比較



・「減少」が4社80%で最も多くなっている。

◇売上(加工)額 (来期 令和6年10月~12月)

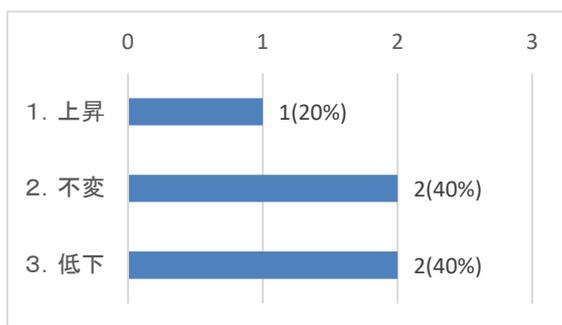
※前年同期との比較



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。

◇客単価 (今期 令和6年7月~9月)

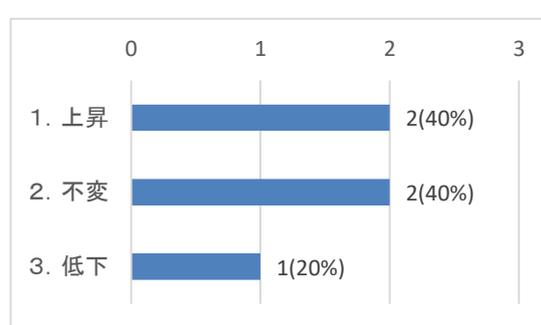
※前年同期との比較



・「不変」、「低下」が2社40%ずつで最も多くなっている。

◇客単価 (来期 令和6年10月~12月)

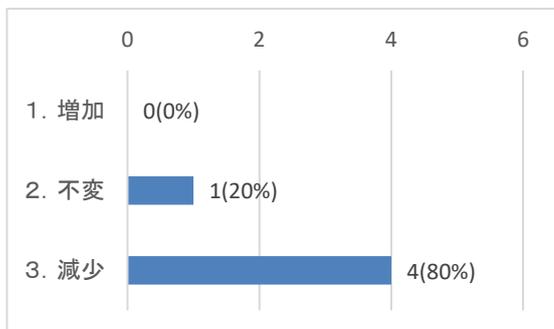
※前年同期との比較



・「上昇」、「不変」が2社40%ずつで最も多くなっている。

◇客数 (今期 令和6年7月~9月)

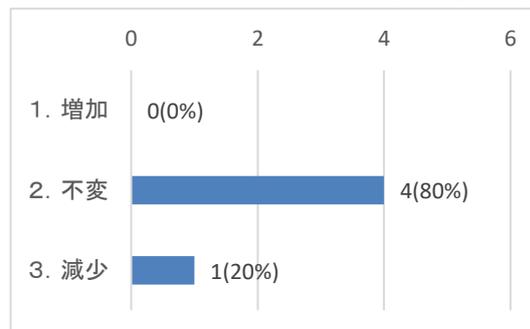
※前年同期との比較



・「減少」が4社80%で最も多くなっている。

◇客数 (来期 令和6年10月~12月)

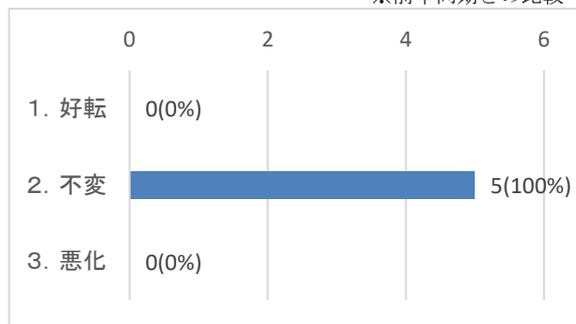
※前年同期との比較



・「不変」が4社80%で最も多くなっている。

◇資金繰り (今期 令和6年7月～9月)

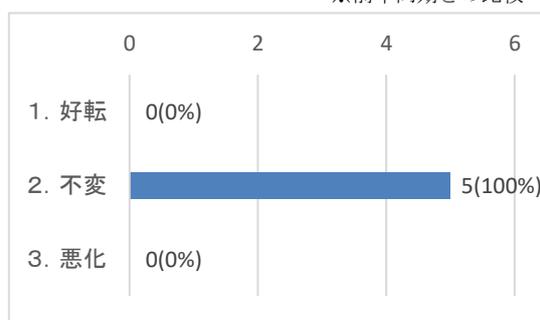
※前年同期との比較



・5件とも「不変」と回答している。

◇資金繰り (来期 令和6年10月～12月)

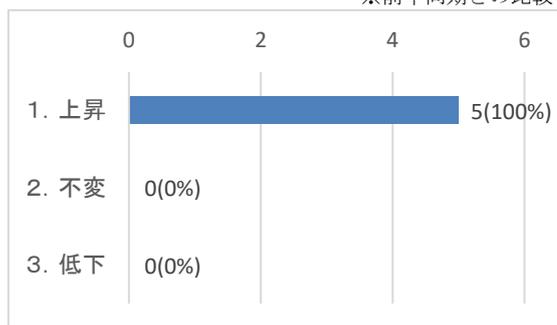
※前年同期との比較



・5件とも「不変」と回答している。

◇原材料仕入れ単価 (今期 令和6年7月～9月)

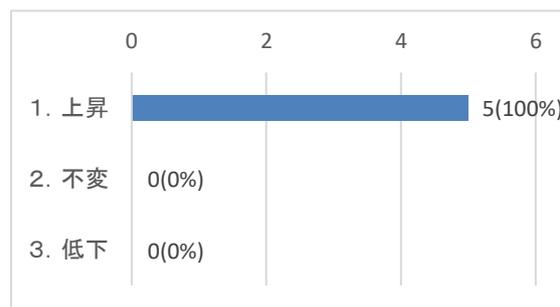
※前年同期との比較



・5件とも「上昇」と回答している。

◇原材料仕入れ単価 (来期 令和6年10月～12月)

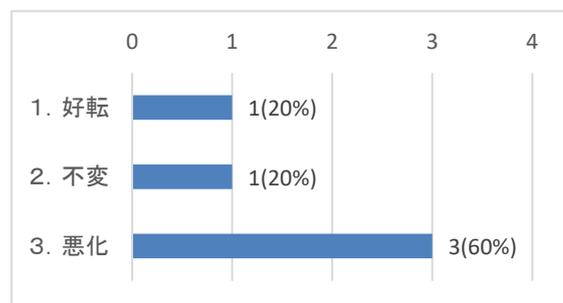
※前年同期との比較



・5件とも「不変」と回答している。

◇採算(経常利益) (今期 令和6年7月～9月)

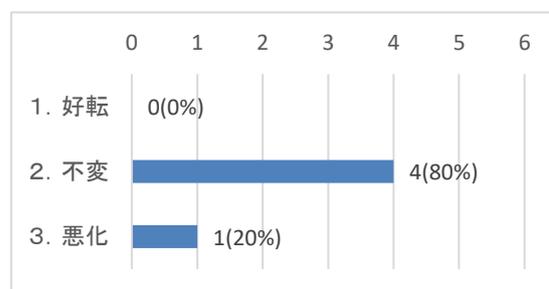
※前年同期との比較



・「悪化」が3件60%で最も多くなっている。

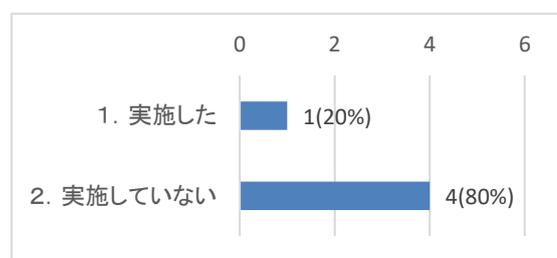
◇採算(経常利益) (来期 令和6年10月～12月)

※前年同期との比較



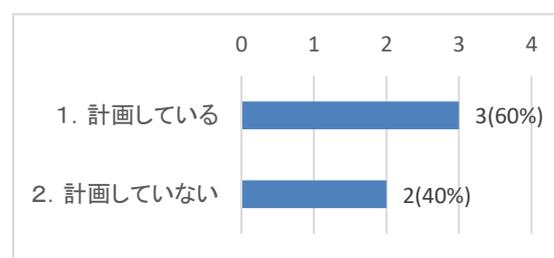
・「不変」が4社80%で最も多くなっている。

◇設備投資(今期 令和6年7月～9月)



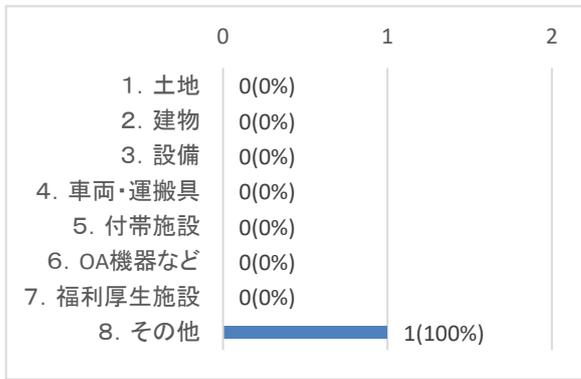
・設備投資は、1社20%が実施されている。

◇設備投資(来期 令和6年10月～12月)



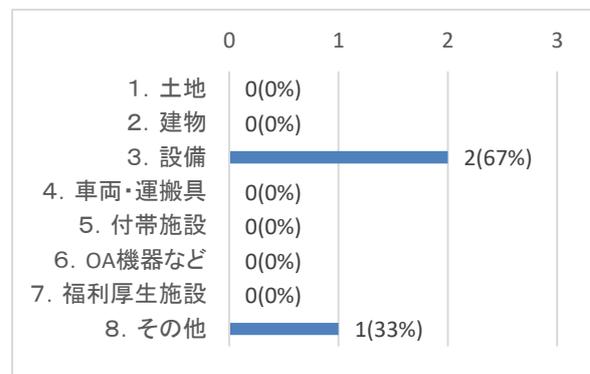
・設備投資は、3社60%が計画している。

<実施した設備投資の内容>



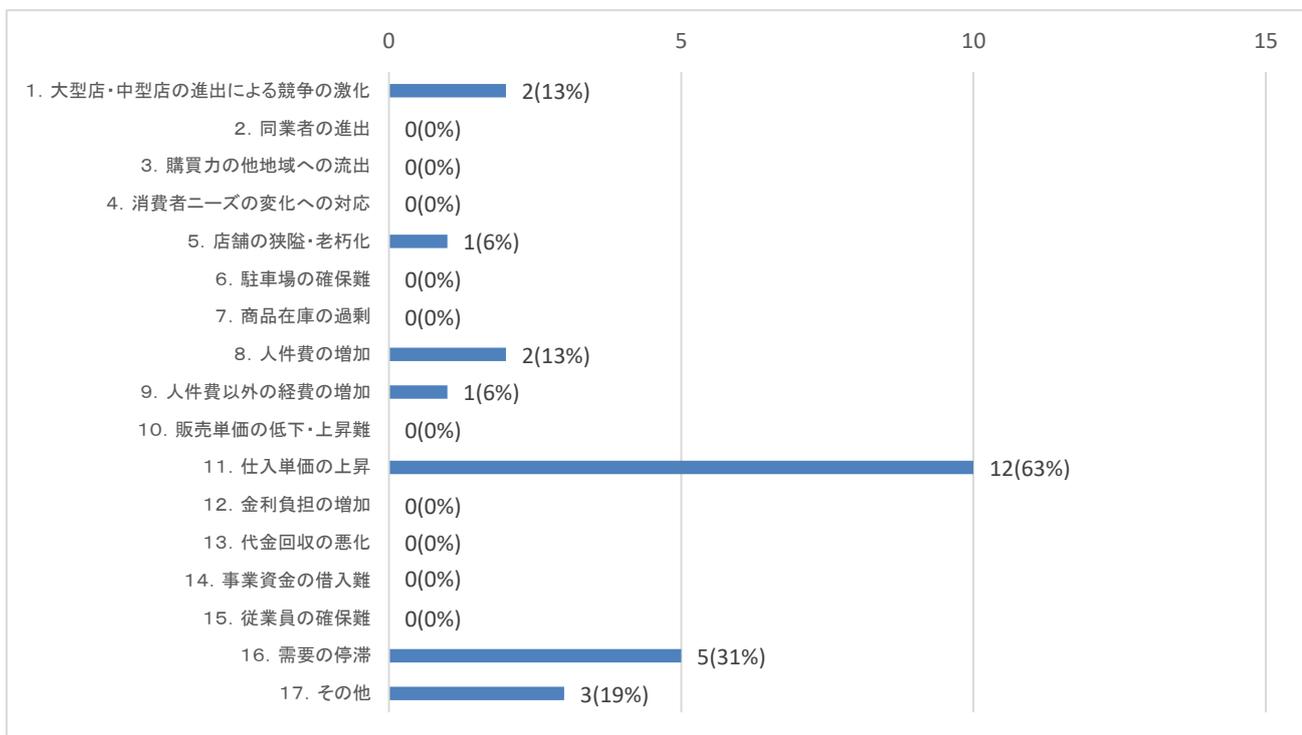
・設備投資内容は「その他」となっている。

<予定している設備投資の内容>



・今後の設備投資は「設備」、「その他」となっている。

◇経営上の課題



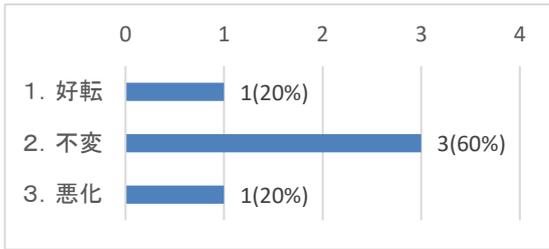
※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「仕入単価の上昇」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「需要の停滞」、「大型店・中型店の進出による競争の激化」などと続く。

<サービス業>

◇自社の現在の景況感 (今期 令和6年7月~9月)

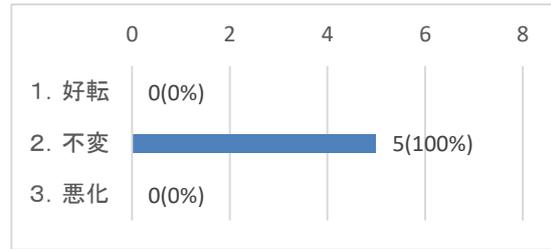
※前期との比較



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。

◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和6年10月~12月)

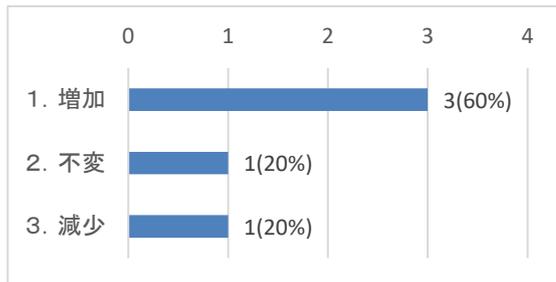
※今期との比較



・「不変」が5社100%となっている。

◇売上(加工)額 (今期 令和6年7月~9月)

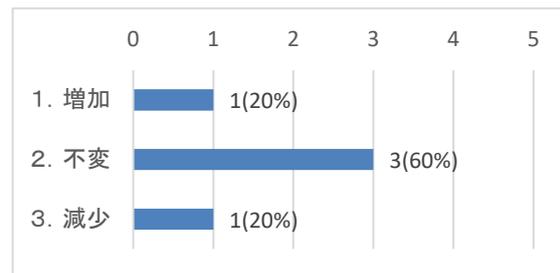
※前年同期との比較



・「増加」が3社60%で最も多くなっている。

◇売上(加工)額 (来期 令和6年10月~12月)

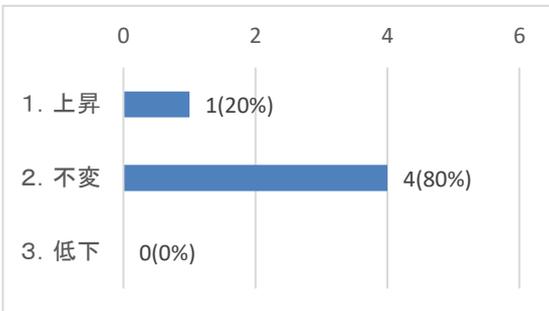
※前年同期との比較



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。

◇売上(加工)単価 (今期 令和6年7月~9月)

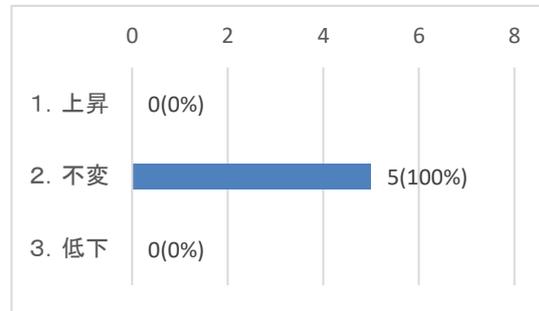
※前年同期との比較



・「不変」が4社80%で最も多くなっている。

◇売上(加工)単価 (来期 令和6年10月~12月)

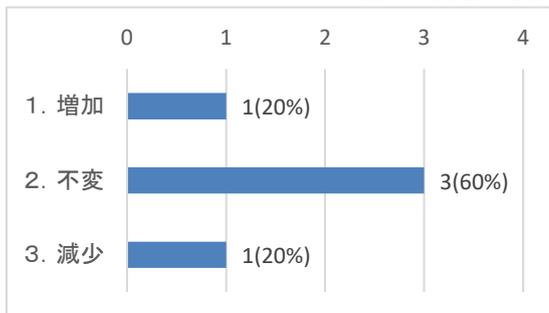
※前年同期との比較



・「不変」が5社100%となっている。

◇売上(加工)数量 (今期 令和6年7月~9月)

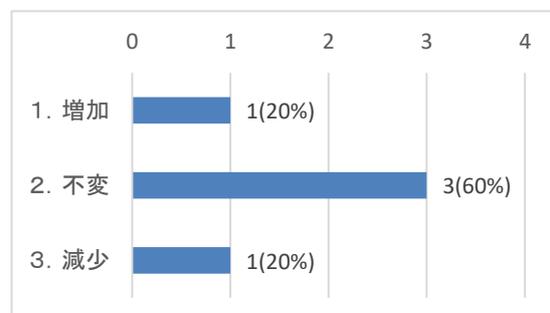
※前年同期との比較



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。

◇売上(加工)数量 (来期 令和6年10月~12月)

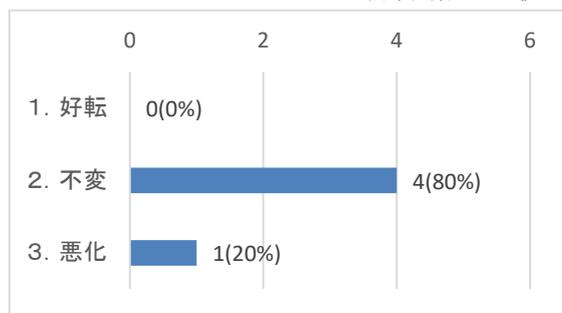
※前年同期との比較



「不変」が3社60%で最も多くなっている。

◇資金繰り (今期 令和6年7月～9月)

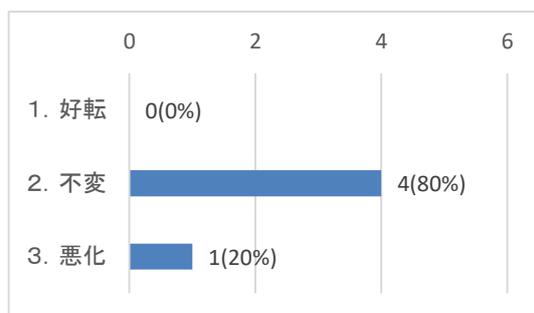
※前年同期との比較



・「不変」が4件80%で最も多くなっている。

◇資金繰り (来期 令和6年10月～12月)

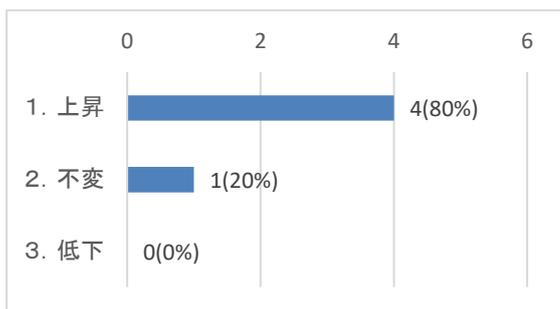
※前年同期との比較



・「不変」が4件80%で最も多くなっている。

◇原材料仕入れ単価 (今期 令和6年7月～9月)

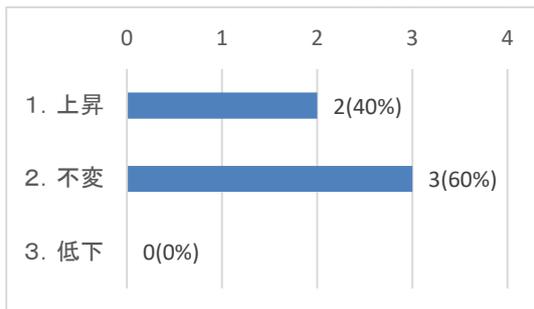
※前年同期との比較



・「上昇」が4件80%で最も多くなっている。

◇原材料仕入れ単価 (来期 令和6年10月～12月)

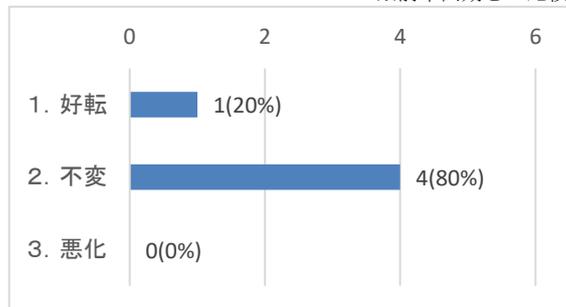
※前年同期との比較



・「不変」が3件60%で最も多くなっている。

◇採算(経常利益) (今期 令和6年7月～9月)

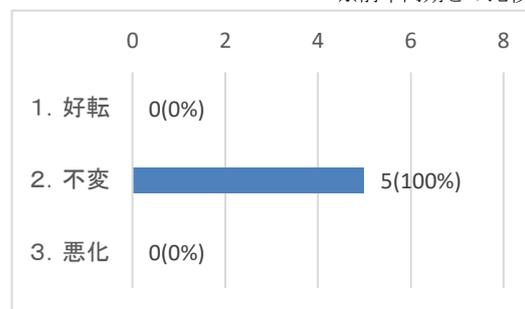
※前年同期との比較



・「不変」が4件80%で最も多くなっている。

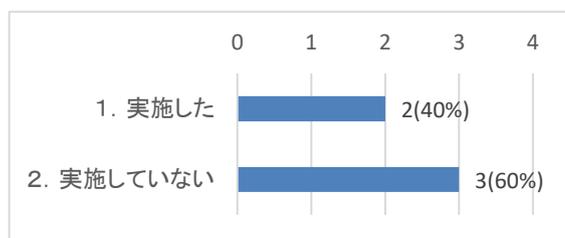
◇採算(経常利益) (来期 令和6年10月～12月)

※前年同期との比較



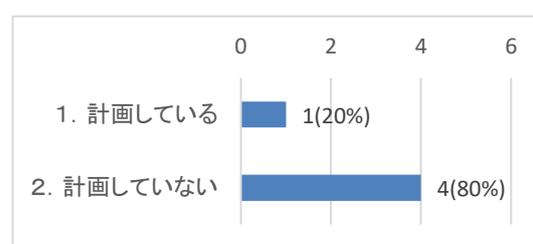
・「不変」が5社100%となっている。

◇設備投資(今期 令和6年7月～9月)



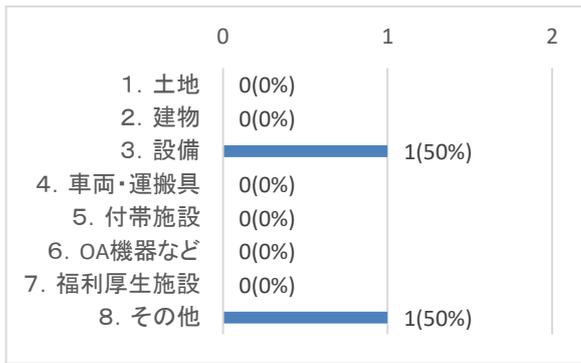
・設備投資は、2社40%が実施されている。

◇設備投資(来期 令和6年10月～12月)

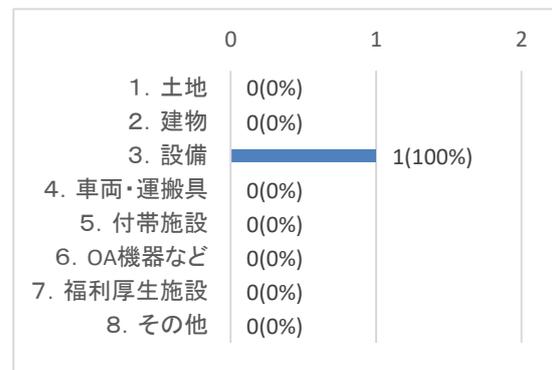


・設備投資は、1社20%が計画されている。

<実施した設備投資の内容>



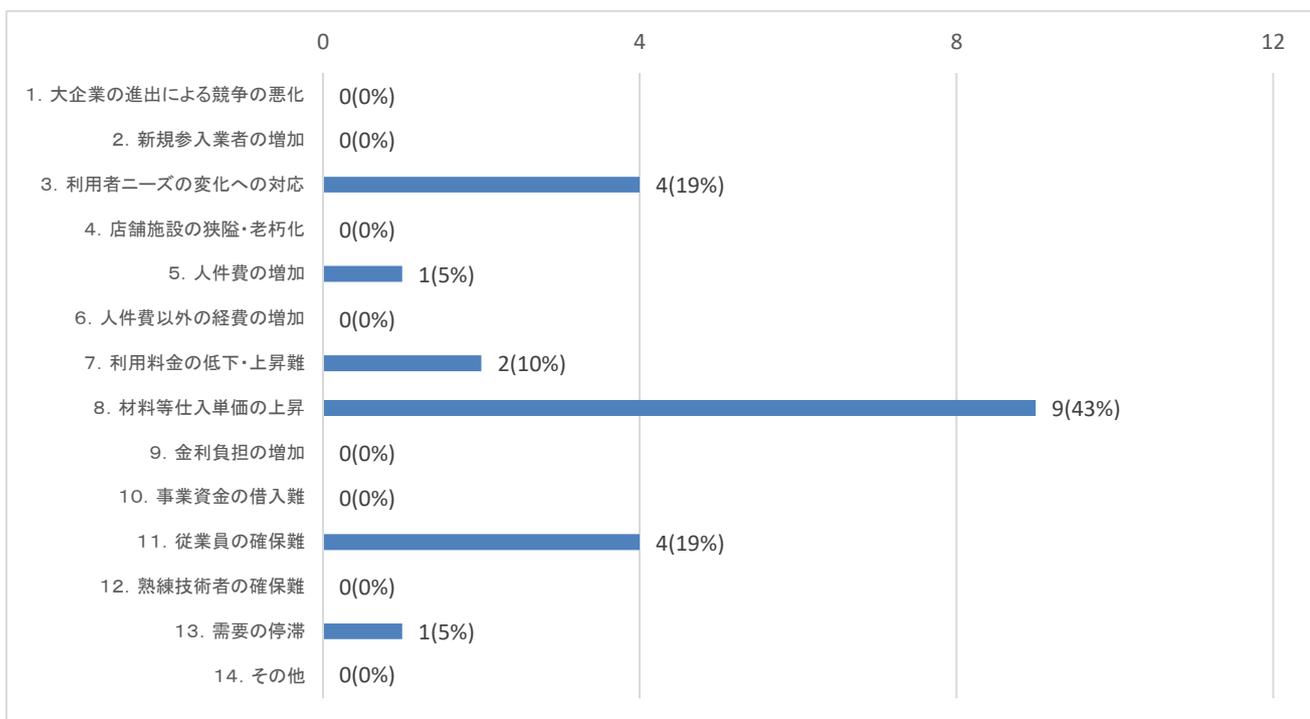
<予定している設備投資の内容>



・設備投資内容は「設備」、「その他」となっている。

・今後の設備投資は「設備」となっている。

◇経営上の課題



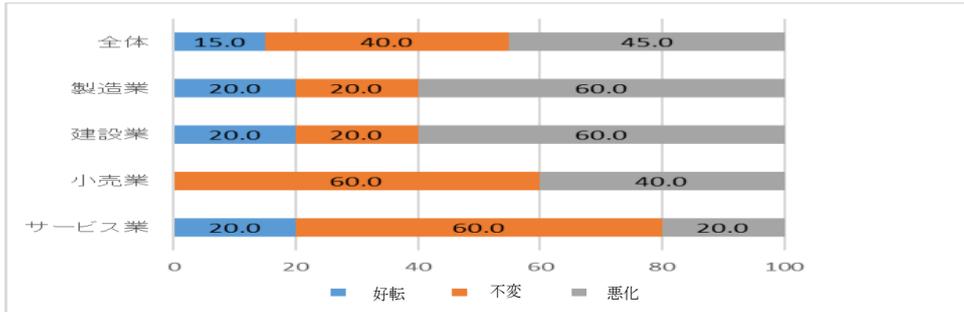
※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「材料等仕入単価の上昇」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「利用者ニーズの変化への対応」、「従業員の確保難」と続く。

<業種比較のまとめ>

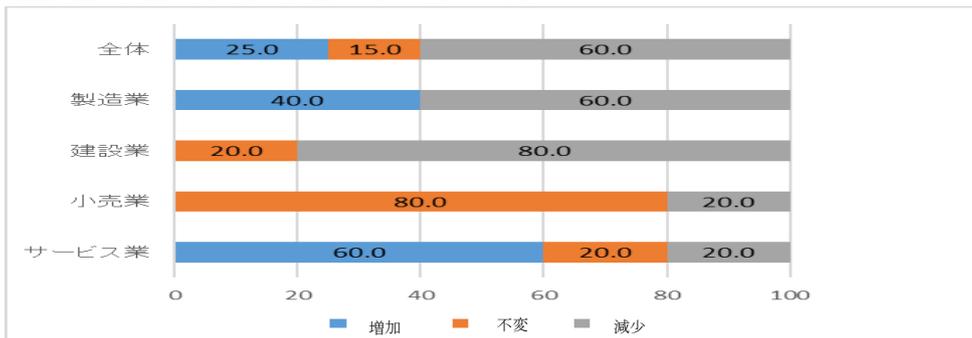
上記、業種別の内容について、まとめを行った。

◇自社の現在の景況感（今期 令和6年7月～9月）



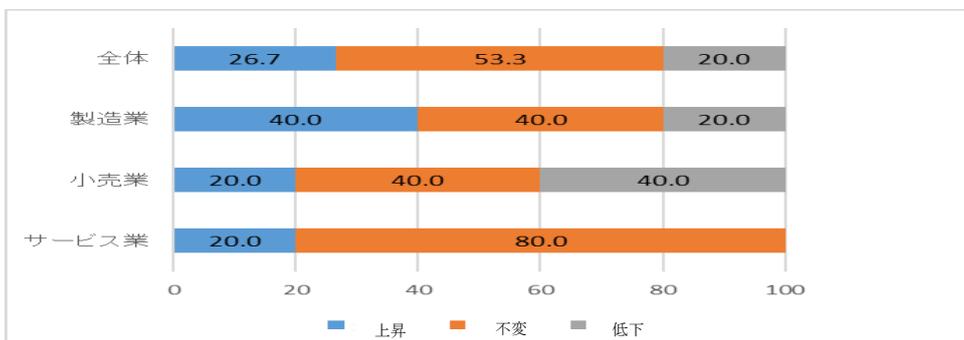
・製造業、建設業では悪化の割合が高い。

◇売上(加工)額（今期 令和6年7月～9月）



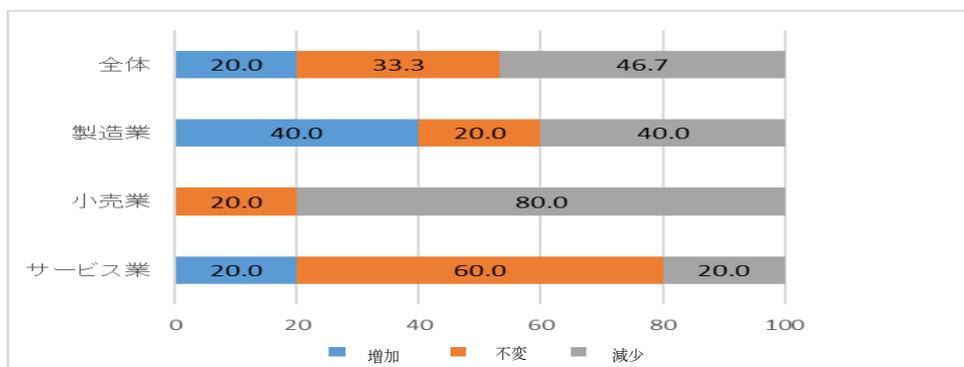
・サービス業では増加の割合が高い。建設業、製造業では減少の割合が高い。

◇売上(加工)単価（今期 令和6年7月～9月）



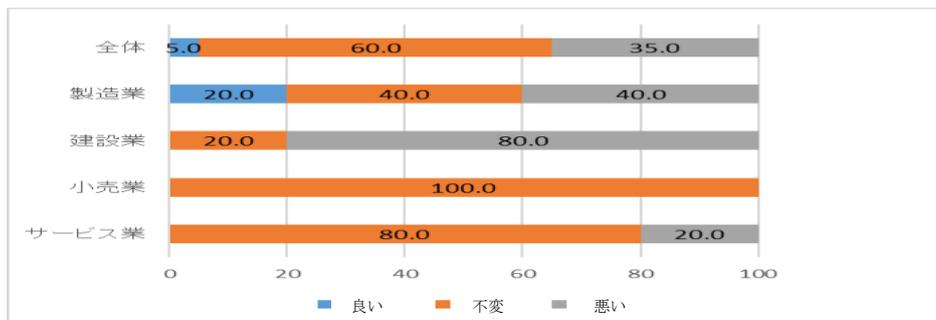
・製造業では上昇の割合が高く、小売業では低下の割合が高い。

◇売上(加工)数量（今期 令和6年7月～9月）



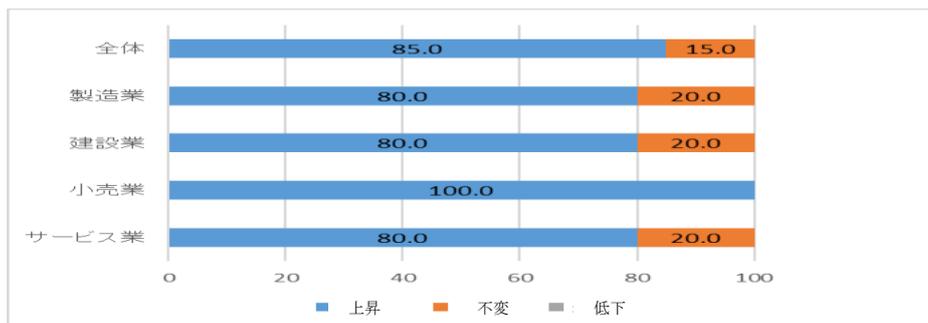
・製造業は増加の割合が高く、小売業は減少の割合が高い。

◇資金繰り（今期 令和6年7月～9月）



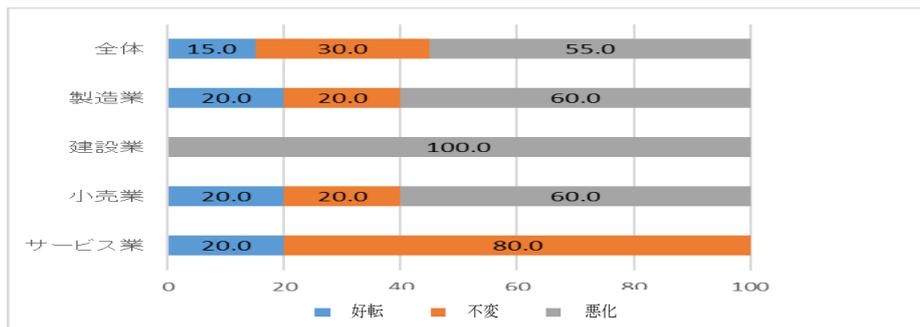
・建設業では悪いの割合が高い。

◇原材料仕入れ単価（今期 令和6年7月～9月）



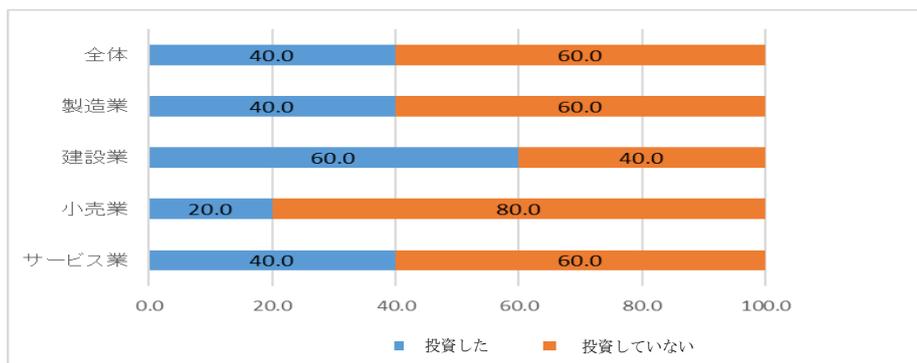
・各業種とも上昇の割合が高い。

◇採算（経常利益）（今期 令和6年7月～9月）



・建設業は悪化の割合が高い。

◇設備投資（今期 令和6年7月～9月）



・建設業で投資割合が高く、60%の投資割合となっている。その他の業種では20%～40%の投資割合となっている。

佐賀県の景況

■佐賀県内経済情勢報告 (R6.8 より)

『県内経済は、緩やかに回復しつつある』

- ・個人消費は、緩やかに回復しつつある。
- ・生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。
- ・雇用情勢は、穏やかに改善しつつある。
- ・企業収益は、令和6年度は減益見込みとなっている。
- ・設備投資は、令和6年度は増加見込みとなっている。
- ・住宅建設は、前年を下回っている。

■佐賀県主要経済統計速報 (R6.9 より)

佐賀県主要経済統計速報9月号より、佐賀県内の経済情勢は以下のとおりとなっている。
佐賀県経済の最近の動向(対前年同月比)をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額(7月)は、全店販売額が6ヵ月連続で上回った。
乗用車新規登録台数(8月)は、2ヵ月連続で上回った。
新設住宅着工戸数(7月)は、2ヵ月振りに下回った。
公共工事前払保証請負金額(8月)は、2ヵ月振りに上回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数(7月)は、13ヵ月連続で下回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)(7月)は9ヵ月連続で下回った。
- ・企業倒産件数(8月)は1件増で、負債金額(8月)は3ヵ月振りに上回った。
- ・金融機関(銀行)貸出金残高(7月)は、54ヵ月連続で上回った。

<佐賀県内の参考指数>

項目		対象月	数 値	対前年同月比・増減分	前月比・増減分				
県内需要	個人消費	百貨店・スーパー販売額	全店販売額	7月	58億57百万円	3.4%	↗	3.0%	↗
			既存店販売額	7月	—	0.8%	↗	—	—
	住宅建設	乗用車新規登録台数	8月	2,039台	3.0%	↗	△11.3%	↘	
			新設住宅着工戸数	7月	295戸	△48.9%	↘	△41.6%	↘
				公共工事前払保証請負金額	8月	113億15百万円	30.7%	↗	5.0%
生産	鉱工業生産指数(注)	7月	91.7	△1.5%	↘	△2.7%	↘		
雇用	所定外労働時間数指数(事業所規模30人以上)		7月	97.0	1.0%	↗	—	—	
	有効求人倍率・受理地別(季節調整済)		7月	1.26倍	△0.11	↘	△0.02	↘	
	有効求人倍率・就業地別(〃)		7月	1.45倍	△0.10	↘	△0.01	↘	
企業倒産	企業倒産状況(累計は年間ベース)(注)	倒産件数(当月)	8月	3件	1件	↘	1件	↘	
		〃(累計)	8月	15件	△9件	↗	—	—	
		負債金額(当月)	8月	1億66百万円	1億46百万円	↘	△1億39百万円	↗	
		〃(累計)	8月	13億26百万円	△7億56百万円	↗	—	—	
物価	消費者物価指数(佐賀市)	7月	108.5	3.4%	↗	0.5%	↗		
金融	金融機関(銀行)貸出残高	7月	1兆4,970億円	1.7%	↗	0.0%	↗		
人口	推計人口	9月	788,040人	△6,720人	↘	△612人	↘		
	推計世帯数		322,092世帯	2,609世帯	↗	10世帯	↗		
景気動向指数	先行指数	7月	37.5%	—	—	—	—		
	一致指数		57.1%	—	—	—	—		
	遅行指数		50.0%	—	—	—	—		

全国の景況

■中小企業景況調査(2024年7~9月期より)

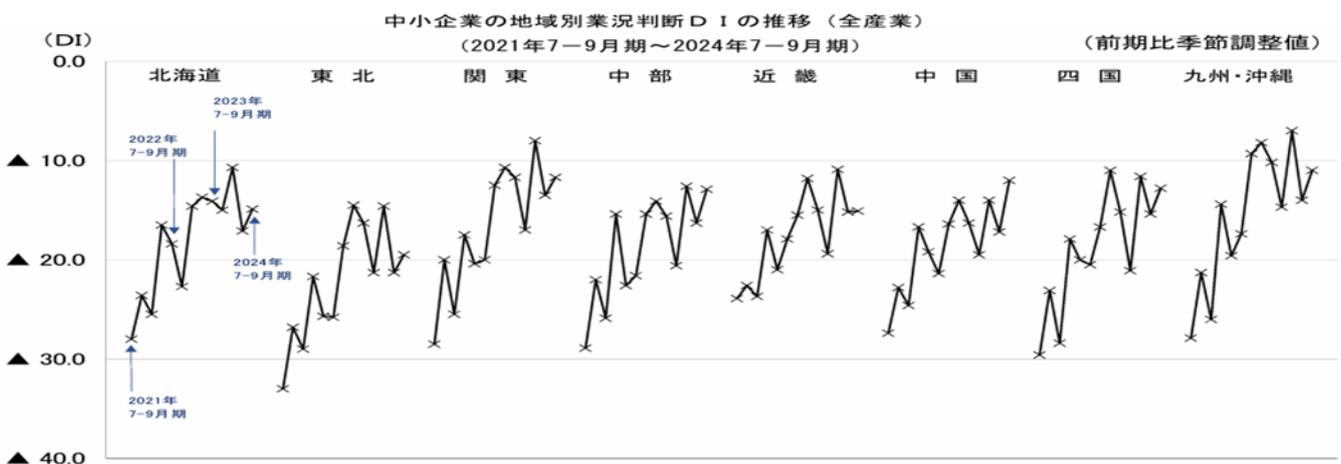
『中小企業の業況判断DIは、2期ぶりに上昇した』

＜中小企業の業況判断(2024年7~9月期)＞



- ・2024年7~9月期の全産業業況判断DI値は、▲13.3(前期より2.3ポイント増)となり、2期ぶりに上昇した。
- ・業種毎には製造業がポイント減で、建設業、卸売業、小売業、サービス業ではポイント増となっている。

＜地域別業況判断(2024年7~9月期)＞



(注)1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。
2. 関東には、新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には、石川、富山の各県、近畿には、福井県を含む。
九州・沖縄は、九州各県と沖縄の合計。

- ・地域別の業況判断では、九州・沖縄をはじめ他の全ての地域でマイナス幅が縮小した。

■月例経済報告 (R6.9 月号より)

『景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している』

- ・個人消費は、一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
- ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。
- ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・生産は、持ち直しの動きがみられる。
- ・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、改善している。
- ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。
- ・先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国経済における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

■参考 全国・佐賀県・佐賀市南の業況などの比較 (2024年7月～9月期)

◇業況判断(DI値) 前期比

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	▲13.3	▲9.2	▲30.0
製造業	▲14.6	▲9.6	▲40.0
建設業	▲9.5	▲9.1	▲40.0
卸売業	▲10.5	1.7	-
小売業	▲21.6	▲17.4	▲40.0
サービス業	▲8.2	▲3.5	0.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国▲13.3に対し、佐賀県は▲9.2であり、全国値と比較してポイントは高い。

◇売上額DI(「増加」-「減少」 前年同月比)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	▲9.7	▲10.5	▲35.0
製造業	▲13.0	▲23.4	▲20.0
建設業	▲12.5	▲16.9	▲80.0
卸売業	▲4.7	24.0	-
小売業	▲19.3	▲19.4	▲80.0
サービス業	0.1	1.8	40.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国▲9.7に対し、佐賀県は▲10.5であり、全国値と比較してポイントは低い。

◇売上(加工)単価・客単価DI(「上昇」-「減少」 前年同月比) ※建設業は除く

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	15.2	12.0	6.7
製造業	25.7	19.8	20.0
卸売業	45.5	44.0	-
小売業	▲4.4	2.1	▲20.0
サービス業	16.3	7.4	20.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国15.2に対し、佐賀県は12.0であり、全国値と比較してポイントは低い。

◇売上数量・客数DI(「増加」-「減少」 前年同月比) ※建設業、卸売業は除く

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
製造業	▲19.4	▲33.4	0.0
小売業	▲29.9	▲29.0	▲80.0
サービス業	▲7.9	▲8.2	0.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全国、佐賀県とも、各産業でポイントはマイナスとなっている。

◇資金繰りDI(「好転」-「悪化」前年同月比)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	▲12.7	▲11.2	▲30.0
製造業	▲14.2	▲19.8	▲20.0
建設業	▲7.1	▲3.8	▲80.0
卸売業	▲8.2	4.0	-
小売業	▲19.4	▲18.5	0.0
サービス業	▲9.7	▲5.5	▲20.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国▲12.7に対し、佐賀県は▲11.2で全国値と比較してポイントは高い。

◇仕入単価DI(「上昇」-「低下」前年同月比)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	68.7	68.7	85.0
製造業	70.6	63.7	80.0
建設業	73.9	80.4	80.0
卸売業	69.8	68.0	-
小売業	63.0	60.3	100.0
サービス業	69.3	74.1	80.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国68.7に対し、佐賀県も同値の68.7となっている。

◇採算(経常利益)DI(「好転」-「悪化」前年同月比)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	▲23.1	▲23.2	▲40.0
製造業	▲23.6	▲34.6	▲40.0
建設業	▲20.8	▲9.5	▲100.0
卸売業	▲16.6	4.0	-
小売業	▲30.2	▲28.0	▲40.0
サービス業	▲19.6	▲23.4	20.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国▲23.1に対し、佐賀県は▲23.2であり、ほぼ同値である。

◇投資(設備投資実施企業割合(実施企業/回答企業×100)単位:%)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	17.5	16.8	40.0
製造業	21.7	14.8	40.0
建設業	20.4	30.2	60.0
卸売業	18.6	16.0	-
小売業	12.1	15.1	20.0
サービス業	16.9	13.5	40.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国17.5%に対し、佐賀県は16.8%で、全国を若干下回っている。

◇経営上の課題

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全国	原材料価格の上昇	需要の停滞	従業員の確保難
	佐賀県	需要の停滞	原材料価格の上昇	生産設備の不足・老朽化
	佐賀市南	製品ニーズの変化への対応 原材料価格の上昇	-	原材料費・人件費以外の経費の増加
建設業	全国	材料価格の上昇	従業員の確保難	熟練技術者の確保難
	佐賀県	材料価格の上昇	従業員の確保難	官公需要の停滞
	佐賀市南	材料価格の上昇	熟練技術者の確保難	材料費・人件費以外の経費の増加 事業資金の借入難 従業員の確保難
小売業	全国	仕入単価の上昇	消費者ニーズの変化への対応	需要の停滞
	佐賀県	仕入単価の上昇	消費者ニーズの変化への対応	大型店・中型店の進出による競争の激化
	佐賀市南	仕入単価の上昇	需要の停滞	大型店・中型店の進出による競争の激化 人件費の増加
サービス業	全国	材料等仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応	従業員の確保難
	佐賀県	材料等仕入単価の上昇	従業員の確保難	需要の停滞
	佐賀市南	材料等仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応 従業員の確保難	-

全国、佐賀県、佐賀市南エリア事業者の問題点を比較すると以下のとおりである。

- ・製造業では、全国1位は「原材料価格の上昇」、佐賀県1位は「需要の停滞」、佐賀市南1位は「製品ニーズの変化への対応」、「原材料価格の上昇」となっている。
- ・建設業では、全国、佐賀県佐賀市南とも1位は「材料価格の上昇」となっている。
- ・小売業では、全国、佐賀県、佐賀市南とも1位は「仕入単価の上昇」となっている。
- ・サービス業では、全国、佐賀県、佐賀市南とも1位は「材料等仕入単価の上昇」となっている。